

平成34年度指定野菜の需要及び供給の見通しの公表について

野菜生産出荷安定法（昭和41年法律第103号）第3条第1項及び野菜生産出荷安定法施行令（昭和41年政令第224号）第2条の規定に基づき、平成34年度指定野菜の需要及び供給の見通しを次のとおり立てたので、公表する。

平成30年3月30日

農林水産大臣 齋藤 健

平成34年度指定野菜の需要及び供給の見通し

(単位：千トン)

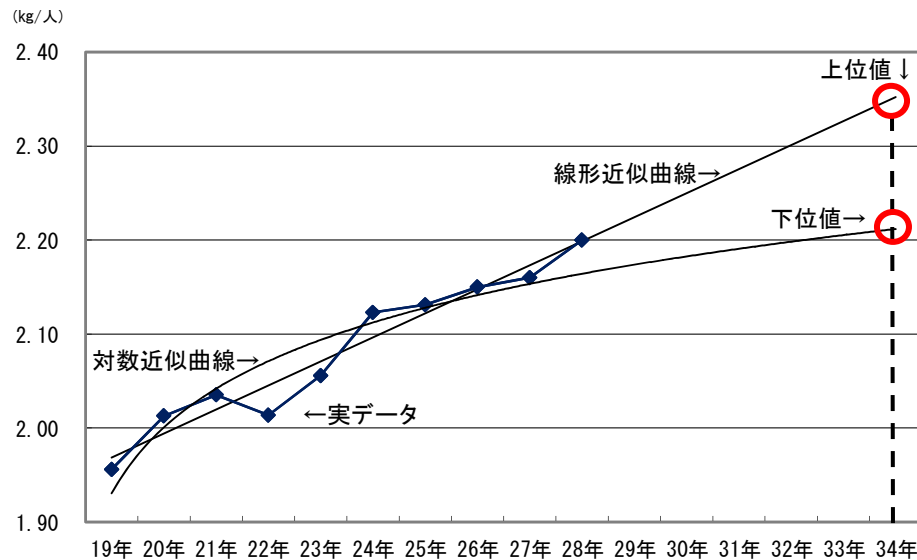
指定野菜の種類	項 目 時 期 区 分	需 要 量 (純食料ベース)	供 給 量	
				国内産供給量
キャベツ	4月から6月まで	268～ 278	380～ 394	379～ 392
	7月から10月まで	333～ 352	473～ 498	460～ 486
	11月から翌年3月まで	444～ 483	630～ 684	614～ 669
きゅうり	7月から11月まで	234～ 257	256～ 282	247～ 273
	12月から翌年6月まで	267～ 291	293～ 319	279～ 305
さといも	6月から翌年3月まで	153～ 166	193～ 210	158～ 175
だいこん	4月から6月まで	182～ 196	215～ 232	209～ 226
	7月から9月まで	205～ 215	243～ 254	239～ 250
	10月から翌年3月まで	759～ 835	897～ 987	886～ 976
たまねぎ	4月から10月まで	576～ 600	673～ 702	433～ 461
	11月から翌年3月まで	738～ 749	862～ 875	739～ 752
トマト	7月から11月まで(大玉)	209～ 217	250～ 261	248～ 259
	〃 (ミニ)	46～ 57	55～ 68	53～ 66
	12月から翌年6月まで(大玉)	252～ 259	302～ 311	301～ 310
	〃 (ミニ)	68～ 78	82～ 94	80～ 93
なす	7月から11月まで	161～ 177	186～ 205	185～ 204
	12月から翌年6月まで	91～ 104	105～ 120	104～ 118
にんじん	4月から7月まで	259～ 275	284～ 301	158～ 175
	8月から10月まで	236～ 250	258～ 274	169～ 185
	11月から翌年3月まで	302～ 332	331～ 364	220～ 253
ねぎ	4月から6月まで	66～ 68	96～ 99	83～ 86
	7月から9月まで	70～ 72	102～ 105	85～ 89
	10月から翌年3月まで	218～ 226	319～ 330	291～ 302
はくさい	4月から6月まで	91～ 93	114～ 116	114～ 116
	7月から9月まで	140～ 144	175～ 180	175～ 180
	10月から12月まで	268～ 279	335～ 349	335～ 348
	翌年1月から3月まで	202～ 210	253～ 263	253～ 263
ばれいしょ	4月から6月まで	469～ 484	580～ 599	313～ 336
	7月から9月まで	368～ 380	456～ 471	246～ 264
	10月から翌年3月まで	837～ 864	1,036～1,069	559～ 599
ピーマン	6月から10月まで	64～ 68	79～ 84	59～ 64
	11月から翌年5月まで	75～ 82	92～ 102	69～ 79
ほうれんそう	4月から6月まで	60～ 63	72～ 76	57～ 61
	7月から9月まで	38～ 40	46～ 49	36～ 39
	10月から翌年3月まで	141～ 149	170～ 180	134～ 143
レタス	4月から5月まで	90～ 92	111～ 114	111～ 114
	6月から10月まで	231～ 256	284～ 315	281～ 312
	11月から翌年3月まで	149～ 156	183～ 192	174～ 183

平成34年度指定野菜の需要及び供給の見通し 作成方針

需要及び供給の見通しは、種別等ごとに、需要量、供給量及び国内産供給量を作成。
作成方針は、次のとおり。

○ 需要量（純食料ベース）

1. 上方トレンドの場合

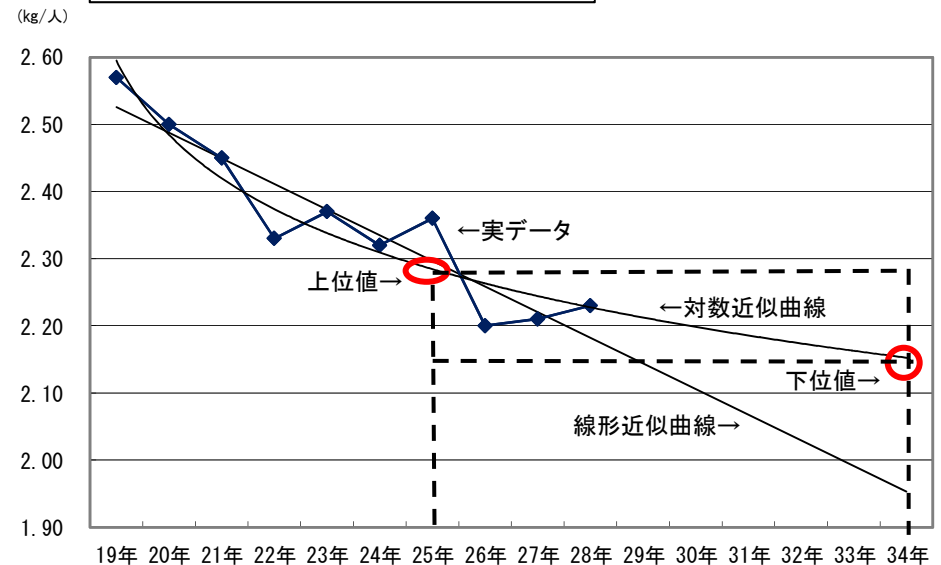


線形近似曲線、対数近似曲線を基に算出した1人当たり需要量の推計値をそれぞれ上位値、下位値とする。



これらに34年の推計人口を乗じ、需要量の上位値及び下位値を算出。

2. 下方トレンドの場合



対数近似曲線により算出した1人当たり需要量の25年値を上位値、対数近似曲線を基に算出した推計値を下位値とする。



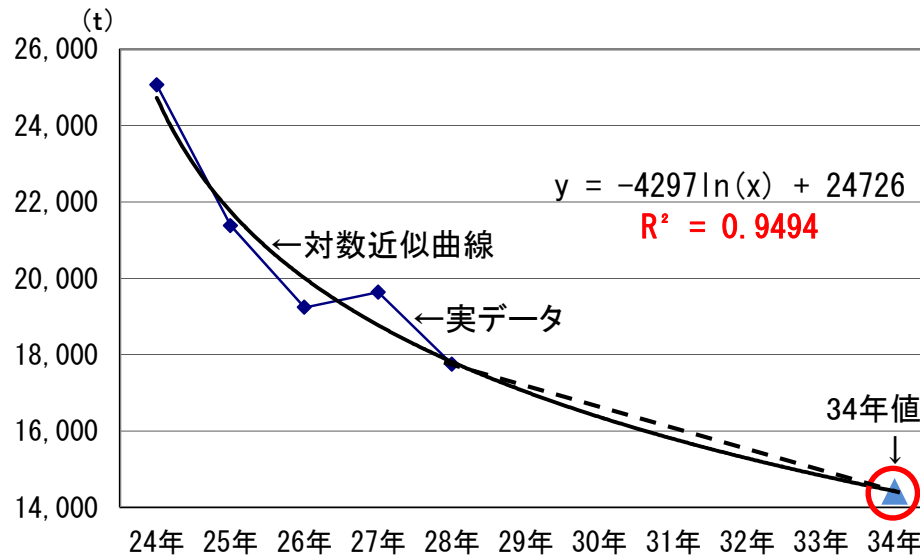
平成34年度指定野菜の需要及び供給の見通し 作成方針

○ 供給量

上位値、下位値ともに、需要量を種別等ごとの歩留まり及び(1-減耗率)で除して算出。

○ 国内産供給量

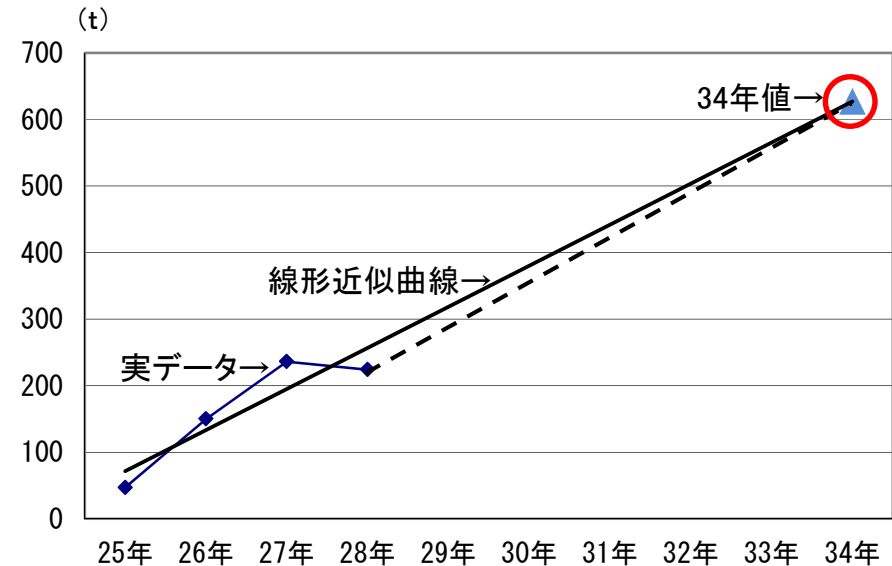
1. 輸入量



24～28年の輸入量を基にした対数近似曲線において、決定係数(R²乗値)が0.5以上の場合はすう勢値を採用。
0.5未満の場合は、24～28年の平均値を採用。



2. 輸出量



25～28年の輸出量を基にした線形近似曲線により算出(25年は基本計画上の起算年及び国別・品目別輸出戦略の策定年。)



これらを基に、国内産供給量は上位値、下位値ともに、供給量 - 輸入量 + 輸出量により算出。